

# 東朽網

## 学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた  
人間性豊かな実践力のあ  
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き

- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)  
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしこく(知)  
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく(体)  
体づくりにも励み、健康でたくましい子ども

第10号 平成28年9月21日発行(文責)校長 井津 京香

先日の学習参観・懇談会に、お忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。

- ・アイデアを出し、工夫しながらオリジナル作品を作る姿
  - ・みんなに伝えたいことを順序良く丁寧な言葉で発表する姿
  - ・これまでに習った漢字を使って文を作り、友達と交流しながら発表する姿
  - ・グループの友達と知恵を出し合いながら、結果を予想し、試す姿
  - ・計算の仕方や答えの求め方をこれまでに学んだことを使って考えようとする姿
- など、発達段階に応じた「学ぶ姿」をご覧いただけたのではないのでしょうか。



「クリーンアップ東朽網」の活動により、運動場が蘇りました。お忙しい中、お手伝いくださったみなさん、ありがとうございました。

学習したことが定着するためには、家庭学習の地道な取組も重要です。「家庭学習チャレンジハンドブック」を参考にされて、ご家庭でも励ましと支援をよろしくお願いします。

### 第3回 代表委員会 9月16日(金)

「笑顔の花を咲かせよう～花いっぱい東朽網小学校～」をスローガンに、笑顔あふれる東朽網小学校にするにはどうすればよいかについて、各学級で話し合ったことを代表委員会に出し合いました。

今後は、各学級で「いじめ撲滅強化月間」として取組を進めていきます。

- 1の1:「どうぞ」や「いいよ」の言葉を増やそう  
友達の言うことをよく聞こう
- 1の2:笑顔でたくさんあいさつをする(相手を見て大きな声で)  
あいさつ名人に折り紙で作ったバッジをつけてあげる
- 2の1:あいさつは、笑顔でしょう
- 3の1:一人でいる人に声をかける いろいろな人に話しかける
- 4の1:1年に1回マスコットキャラをつくる  
あいさつを笑顔で1日1回以上する
- 5の1:1日1回は、学級全員の友達と話をしよう努力する  
笑顔と大きな声であいさつをする 全員で遊ぶ日をつくる
- 6の1:優しく温かい言葉をつかう 「いいよ」「ありがとう」など  
みんなで言葉を考え、教室に掲示し、振り返りをして、使えているかの確認をする



### 10月行事予定

5	水	フッ素塗布	2,3年生希望者
6	(木)	～7(金)	5年生自然教室
12	水	1, 2年生 生活科見学 (下関水族館「海響館」)	5, 6年生 陶芸教室
14	金	6年生 陸上記録会 (戸畑区 鞆ヶ谷競技場) *雨天 18日(火)に延期	
17	月	4年生 (2校時) 連合音楽会の校内発表会	
19	水	就学時健康診断(新1年生) 受付開始: 13:20～ 1, 2年生: 13:10 頃下校 3年生以上: 通常通り	
20	木	4年生小倉南区連合音楽会 (小倉南生涯学習センター) 午前の3番目に出演します	
26	水	1年生 くさみ幼稚園との交流会	
27	木	1年生 朽網保育園との交流会	
31	月	3年生 国際理解学習 ハロウィン体験	
21	(金)	28(金)	クラブ活動
31	(月)	～11/4(金)	学校開放週間
11/1	(火)		人権学習参観・講演会
11/14	(月)		5年生 球技大会
11/19	(土)		土曜日授業マラソン大会

### 6年生 平和学習 被爆体験講話 9月8日(木)

昭和20年8月9日午前11時2分 長崎で被爆体験をされた校区在住の方に、ご講話いただきました。つらく悲しい状況下でも友と助け合い、支え合い、励まし合って生きてきた生の体験を、一言一句、内に秘めた強い思いを込めながら語っていただきました。「地球はまるい。みんなが幸せになってほしい。怖い経験を二度としないように。」 被爆体験講話より



- ・戦争の悲しさや苦しさ、平和の大切さについて、あらためて考えようと思いました。私たちが、こうして、何気なく、当たり前のように暮らしていることが、すごくありがたく、幸せなんだとわかりました。
- ・僕は、もし、自分だったら・・・、と想像しました。考えただけで、体が震えます。
- ・テレビも電話もない時代に原爆が落ち、何が起きたかも分からなくなるくらいに、怖かったんだなあと思いました。
- ・私(僕)は、これから、「ごめんね」「いいよ」「ありがとう」をきちんと言おうと思いました。
- ・修学旅行でも、しっかりと話を聞き、平和について考えようと思います。
- ・やっぱり、戦争は怖いと思いました。友達や家族も死んでしまうなんて、悲しいことにならないようにしようと思います。僕たちが大人になった頃には、伝えられる人がいなくなるかもしれないので、僕たちが伝えなければいけないと思いました。